

5 市民文化会館・文化振興センターともに解体へ

新たな交流、学び、文化の交差する場の創出へ

磐田市民文化会館及び文化振興センターは、令和3年度解体の予算を確保しています。このうち文化振興センターは市中心市街地のシンボリック的存在として、再利用の可能性について検討をしてきましたが、専門家のアドバイスを受け解体することになりました。

1 文化振興センターを解体する理由

- ① 躯体が健全で再利用可能と判断されれば耐震補強計画や実施設計に進むことができるが、調査費用と期間（2～3年）を要するため。
併せて、再利用できたとしても定期的なメンテナンスが必要になるため。
- ② 既存の建物を残すことは、新たなデザインを計画する上で足枷になる可能性があるため。

2 解体スケジュール

入札	10月初旬
市議会議案上程・議決	11月議会
地元説明・準備工	令和4年1月～
解体工事	令和4年4月～令和5年3月

3 跡地整備の考え方

市民文化会館・文化振興センター跡地の利活用が将来にわたって市に活力を与え、市民に希望と心安らぐ豊かな暮らしを実感していただけるものとなるよう、今までに実施してきたパブリックコメントの意見・提案、市議会特別委員会からの提言、跡地活用懇話会の意見をもとに、新たな交流、学び、文化の交差する場の整備方針について検討・策定していきます。

4 今後の主な予定

- ・構想案の検討やコストの試算
- ・年次計画案の策定

担当：資産経営課(解体検討) TEL0538-37-4804
文化振興課(解体工事) TEL0538-59-3333
秘書政策課(跡地検討) TEL0538-37-4805